

令和2年3月2日

知事答弁実録

（地域政策局）

（教育委員会）

（問）国際交流の推進と広島伝統文化振興について

本県の伝統文化や文化財を一層活用した国際交流推進の取組について、どう考えているのか、また、そうした広島伝統文化振興について、県が所管する歴史民俗資料館、歴史博物館を今後どのように運営し、取り組んでいこうとしているのか伺う。

（答）

海外から広島県を訪れる留学生等にとって、教室での学習のみならず、広島が有する伝統文化や文化財等に直接触れる機会を持つことは、広島や日本をより深く理解するとともに、滞在をより充実したものにできる、非常に意義深いものと認識しております。

こうしたことから、ひろしま国際センターにおいて、留学生等を対象とした神楽や茶道、花田植えなどの広島伝統文化を体験できるプログラムを提供しているところでございます。

また、県立の博物館や資料館においても、国際交流の取組を進めており、頼山陽史跡資料館では、海外姉妹校を対象に茶道、水墨画などの日本文化の体験、歴史民俗資料館、歴史博物館では、留学生等を対象に日本古来のアクセサリーである勾玉づくり体験などを行っております。

今後、各館においては、留学生等が理解しやすい展示となるよう、展示説明の英訳やパンフレットの多言語化に取り組んでまいります。

県といたしましては、引き続き、伝統文化や文化財等を活用した国際交流の推進と伝統文化の振興に取り組んでまいります。